

2027年度 日産財団理科教育助成 申請書

研究内容が端的に分かるようなものが望ましいです。研究テーマの三要素である、以下の3項目が入っていると分かりやすくなります。副題は必須ではありません。

- ①研究の目指す姿(「～を目指す」「～を育てる」等)
- ②研究の領域・分野(「～における」「～の分野」等)
- ③研究の手立て(「～を通して」「～による」等)

テーマ:例) …を育てる〇〇〇の学習指導 — 〇〇〇における□□□の工夫を通して —	
学校名:〇〇市立〇〇小学校	代表者:〇〇〇〇〇〇
全教員数: X名 実践研究を行う教員数: X名	全学級数・児童生徒数: X学級・ X名 実践研究を受ける学級数・児童生徒数: X学級・ X名

各項目は、密接にリンクしています。整合性が認められるように記載してください。

1. テーマ設定の背景とねらい テーマの目的・意味・価値を説明してください

※連続応募やこれまで助成を受けたことがある場合は、それを踏まえて前年度(前回)からの課題や計画の違い、内容の深まりについても記載してください

社会的・学術的背景や、学校や子供の実態を手がかりに、本テーマを設定した理由を述べてください。

例) 学習指導要領では、…ということが求められている。＜社会的・学術的背景＞
 本校では、…という現状がある。＜実態・課題＞
 そこで本校では、…という考えから、研究テーマを…として設定した。

2. 本実践研究によって目指す子供像 子供がどのように変容(成長)し、どんな姿(態度)になるのか記載してください。

例) 以下、3つを目指す子供像として設定する。

- ・明らかにしたい問題に対して、解決するための道筋を立て、粘り強く検証しようとする子供
- ・科学技術・原理を「不変なもの」として捉えるのではなく、問題点や改善点を見出し、新たな可能性に着目する子供
- ・多様な知識や考えを関連付けながら創造的に思考し、自らの考えを創り上げる子供

学校で掲げている目標をそのまま記載されていることがありますが、実践研究を通して育成する資質や能力に焦点をあてた、より具体的な設定とすると、後述の【仮説と検証方法の設定】を記述しやすくなります。

3. 仮説と検証方法(評価の視点と手法)の設定 できるだけ具体的に記述してください

例) 仮説は、「○○○(研究対象の領域・場)において、□□□(手立て)をすれば、子どもたちの◇◇◇(資質・能力)が育成され、△△△(目指す子供像)になるであろう」とする。

評価の視点は、「①知識及び技能、②思考力・表現力・判断力、③主体的に学習に取り組む態度、④他者との協働」の4つの観点とする。

分析方法は、下記4つの方法を用いて検証する。

- (1) 実験レポート・ノートの記述分析
- (2) 授業録画による行動分析
- (3) 複数の授業者の協議による学習者の変容の評価
- (4) アンケートによる意識調査(選択式および記述式 200文字程度)

この際、「……」や「……」などの、○○な視点を持った記述や発言に着目して分析する。

本項では、研究仮説を提示してください。また、仮説を受けた適切な検証方法も提示してください。なお、検証方法(評価の視点と分析方法)は、できるだけ具体的に示してください。検証にあたっては、質的(個の変容の把握)をベースに、可能であれば量的(数量的・統計的把握)にもアプローチできると良いでしょう。

4. 実践研究内容 「助成金の内訳と主な用途」で示したものをどのように活用するのか、実践研究内容と共に記載してください

本項では、助成金を活用した本研究として、どのような場面(学年・単元)で、何を狙って、どんな実践をするのかを具体的に記載してください。また、助成金を使って準備するものを、どのように活用するのか示してください。仮に、取り扱う単元や学年の幅が広くて実践内容全てを記載できない場合には、想定している授業例を記載するなど、どのような実践であるのか伝わるようにしてください。また、教師側の活動と、子供側の活動の双方が記載されていると良いでしょう。

5. 実践研究スケジュール 1年間のスケジュールを具体的に記載してください

例)

月	段階	主な研究活動	備考
4-5	研究体制の 確立	1.子供の実態把握 2.研究の方向性と実践内容の共有 3.研究環境整備	1.事前意識アンケート 2-①講師を招いての研究検討会 ②全教員を集めた合同研修会 3.教材の見積・購入

本項では、実践研究をいつ、どのように進めるのか、1年間のスケジュールを具体的に記載してください。実践研究の実現可能性をはかる参考になります。

6. 実践研究成果について

(1) 成果を本校でどう活かすのか

得られた研究成果は、次につなげていくことに価値があります。
「(1)成果を本校でどう活かすのか」では、本校としてどのように発展させることが想定できるのかなど、将来の研究の発展可能性について記載してください。
「(2)成果を他の学校や地域にどう発信していくのか」では、得られた成果を本校の中に留めず、他の学校や地域などの知見となるよう発信していく方法を記載してください。

(2) 成果を他の学校や地域にどう発信していくのか

本助成は研究助成ですので、研究仮説の検証のために助成金が支出されなければなりません。
 そのためには、実践内容を明確にした上で、何をどの程度購入予定なのか、できるだけ具体的に示してください。

7. 助成金の内訳と主な用途 振込金額は1万円単位のため、合計欄には小数点は使用不可 ×48.5万円 ○49万円

目的	内訳 最大50万円	用途 購入するものを具体的に記載	実践研究内容との関係 どのような目的で使用するかを記載
教材	25万円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">何にお金を使うのか</div> 3Dプリンター×1 ○○円 3Dプリンター用消耗材料 ○○円 非接触形状測定機×1 ○○円 ○○実験キット×40 ○○円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">実践研究の何に関係しているのか</div> 実践研究の○○実験で使用する教材作成(研究内容③で使用)
子供の体験活動	10万円	専門家による講演(講師謝礼) ○○円 体験学習会用バス借り上げ ○○円	実践研究の○○における仮説を立てるための専門家による情報インプット及び○○を実地で見学する(研究内容①②)
教師の指導力向上	5万円	夏季研修時の講師代(講師謝礼) ○○円	研究内容②と③の間に、指導力向上のための夏季研修を計画しており、大学の先生に講演を依頼予定
成果発信	10万円	理科教育学会での発表のための参加費用(○○円)および交通費(○○円)	前年度からの取り組みを含めた本実践研究に関わる研究成果を、学会で発表予定
その他	0万円		
合計	50万円	← 振込金額は1万円単位のため 合計欄には、小数点を使わないでください	

※申請書の枚数は、4枚厳守で作成願います
 ※各項目の幅は、記載量によって多少変更しても構いません

<参考文献>

群馬県教育研究所連盟(2001)『改訂新版 実践的研究のすすめ方—創意工夫を生かした教育を求めて—』, 東洋館出版社
 茨城県教育研修センター(2010)『課題研究の進め方』

2027年度 日産財団理科教育助成 申請書

テーマ: 例)・・・を育てる〇〇〇のクラブ活動
— 〇〇〇における□□□の工夫を通して —

実践内容が端的に分かるようなものが望ましいです。
以下の3項目が入っていると分かりやすくなります。
副題は必須ではありません。

- ①実践の目指す姿(「～を目指す」「～を育てる」等)
- ②実践の領域・分野(「～における」「～の分野」等)
- ③実践の手立て(「～を通して」「～による」等)

学校名: 〇〇市立〇〇小学校

代表者: 〇

活動主体名: 〇〇〇クラブ

実践を行う教員数: X名

実践を受ける児童生徒数: XX名

各項目は、密接にリンクしています。整合性が認められるように記載してください。

1. テーマ設定の背景とねらい **テーマの目的・意味・価値を説明してください**

※連続応募やこれまで助成を受けたことがある場合は、それを踏まえて

前年度(前回)からの課題や計画の違い、内容の深まりについても記載してください

例) 近年、〇〇の普及により・・・ということが求められている。＜社会的・学術的背景＞

小学生を取り巻く環境では、・・・という現状がある。＜実態・課題＞

そこで本校の〇〇クラブ活動において・・・という考えから、実践テーマを・・・として設定した。

社会的・学術的背景や、学校や子供の実態を手がかりに、本テーマを設定した理由を述べてください。

2. 本実践によって目指す子供像 **子供がどのように変容(成長)し、どんな姿(態度)になるのか記載してください。**

例) 以下、3つを目指す子供像として設定する。

- ・明らかにしたい問題に対して、解決するための道筋を立て、粘り強く検証しようとする子供
- ・科学技術・原理を「不変なもの」として捉えるのではなく、問題点や改善点を見出し、新たな可能性に着目する子供
- ・多様な知識や考えを関連付けながら創造的に思考し、自らの考えを創り上げる子供

学校で掲げている目標をそのまま記載されていることがありますが、実践を通して育成する資質や能力に焦点をあてた、より具体的な設定とすると後述の【仮説と検証方法の設定】を記述しやすくなります。

3. 仮説と検証方法(評価の視点と手法)の設定 できるだけ具体的に記述してください

例) 仮説は、「〇〇〇(実践対象の領域・場)において、□□□(手立て)をすれば、子どもたちの◇◇◇(資質・能力)が育成され、△△△(目指す子供像)になるであろう」とする。

評価の視点は、「①知識及び技能、②思考力・表現力・判断力、③主体的に学習に取り組む態度、④他者との協働」の4つの観点とする。

分析方法は、下記3つの方法を用いて検証する。

- (1) 実践中の児童の発言や行動の分析
- (2) 複数の授業者の協議による児童の変容の評価
- (3) アンケートによる意識調査(選択式および記述式 200文字程度)

この際、「……」や「……」などの、〇〇な視点を持った記述や発言に着目して分析する。

本項では、仮説を提示してください。また、仮説を受けた適切な検証方法も提示してください。なお、検証方法(評価の視点と分析方法)は、できるだけ具体的に示してください。検証にあたっては、質的(個の変容の把握)をベースに、可能であれば量的(数量的・統計的把握)にもアプローチできると良いでしょう。

4. 実践内容 「助成金の内訳と主な使途」で示したものをどのように活用するのか、実践内容と共に記載してください

本項では、助成金を活用した本実践として、どのような場面で、何を狙って、どんな実践をするのかを具体的に記載してください。また、助成金を使って準備するものを、どのように活用するのか示してください。また、教師側の活動と、子供側の活動の双方が記載されていると良いでしょう。

5. 実践スケジュール 1年間のスケジュールを具体的に記載してください

例)

月	段階	主な実践活動	備考
4-5	実践体制の 確立	1. 子供の実態把握 2. 実践の方向性と内容の共有 3. 実践環境整備	1. 事前意識アンケート 2. ①講師を招いての検討会 3. 教材の見積・購入
6-7	XXXXXX		

本項では、実践をいつ、どのように進めるのか、1年間のスケジュールを具体的に記載してください。実践の実現可能性をはかる参考になります。

6. 実践成果について

(1) 成果を自校でどう活かすのか

得られた成果は、次につなげていくことに価値があります。
「(1)成果を自校でどう活かすのか」では、自校としてどのように発展させることが想定できるのかなど、将来の研究の発展可能性について記載してください。
「(2)成果を他の学校や地域にどう発信していくのか」では、得られた成果を自校の中に留めず、他の学校や地域などの知見となるよう発信していく方法を記載してください。

(2) 成果を他の学校や地域にどう発信していくのか

本助成は教育助成ですので、実践の仮説の検証のために助成金が支出されなければなりません。そのためには、実践内容を明確にした上で、何をどの程度購入予定なのか、できるだけ具体的に示してください。

7. 助成金の内訳と主な用途 振込金額は1万円単位のため、合計欄には小数点は使用不可 ×48.5万円 ○49万円

目的	内訳 最大50万円	用途 購入するものを具体的に記載	実践内容との関係 どのような目的で使用するかを記載
教材	25万円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">何にお金を使うのか</div> 3Dプリンター×1 ○○円 3Dプリンター用消耗材料 ○○円 非接触形状測定機×1 ○○円 ○○実験キット×40 ○○円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">実践の何に関係しているのか</div> 実践の○○実験で使用する教材作成 (研究内容③で使用)
子供の 体験活動	10万円	専門家による講演(講師謝礼) ○○円 体験学習会用バス借り上げ ○○円	○○における仮説を立てるための専門 家による情報インプット及び ○○を実地で見学する(研究内容①②)
教師の 指導力 向上	5万円	夏季研修時の講師代(講師謝礼) ○○円	研究内容②と③の間に、指導力向上の ための夏季研修を計画しており、大学の 先生に講演を依頼予定
成果 発信	10万円	理科教育学会での発表のための 参加費用(○○円)および交通費(○○円)	本実践に関わる成果を、学会で発表予 定
その他	0万円		
合計	50万円	← 振込金額は1万円単位のため 合計欄には、小数点を使わないでください	

※申請書の枚数は、4枚厳守で作成願います
 ※各項目の幅は、記載量によって多少変更しても構いません

<参考文献>

群馬県教育研究所連盟(2001)『改訂新版 実践的研究のすすめ方—創意工夫を生かした教育を求めて—』, 東洋館出版社
 茨城県教育研修センター(2010)『課題研究の進め方』

2027年度 日産財団理科教育助成 申請書

テーマ: 例) …を育てる〇〇〇のクラブ活動
 — 〇〇〇における□□□の工夫を通して —

団体/学校名: 〇〇大学〇〇部 代表者: ○

団体人数: X名
 実践を行う講師数: X名

実践を受ける児童生徒数: XX名

実践内容が端的に分かるようなものが望ましいです。以下の3項目が入っていると分かりやすくなります。副題は必須ではありません。

①実践の目指す姿(「～を目指す」「～を育てる」等)
 ②実践の領域・分野(「～における」「～の分野」等)
 ③実践の手立て(「～を通して」「～による」等)

各項目は、密接にリンクしています、整合性が認められるように記載してください。

1. テーマ設定の背景とねらい テーマの目的・意味・価値を説明してください
※これまでの活動の実績を記載してください。また、連続応募やこれまで助成を受けたことがある場合は、それを踏まえて前年度(前回)からの課題や計画の違い、内容の深まりについても記載してください

例) 近年、〇〇の普及により…ということが求められている。＜社会的・学術的背景＞
 小中学生を取り巻く環境では、…という現状がある。＜実態・課題＞
 そこで本〇〇部において…という考えから、実践テーマを…として設定した。
 本〇〇部は 2023 年より小中学生を対象とした〇〇を実施してきており、これまでの受講者数は延べ X 人になる。これまでの活動結果を踏まえ、…

社会的・学術的背景や、学校や子供の実態を手がかりに、本テーマを設定した理由を述べてください。またこれまでの活動実態についても記載してください。それを踏まえて、今回のテーマにどうつながっているのかを記載してください

2. 本実践によって目指す子供像 子供がどのように変容(成長)し、どんな姿(態度)になるのか記載してください。

例) 以下、3つを目指す子供像として設定する。

- ・明らかにしたい問題に対して、解決するための道筋を立て、粘り強く検証しようとする子供
- ・科学技術・原理を「不変なもの」として捉えるのではなく、問題点や改善点を見出し、新たな可能性に着目する子供
- ・多様な知識や考えを関連付けながら創造的に思考し、自らの考えを創り上げる子供

実践を通して育成する資質や能力に焦点をあてた、より具体的な設定とすると後述の【仮説と検証方法の設定】を記述しやすくなります。

3. 仮説と検証方法(評価の視点と手法)の設定 できるだけ具体的に記述してください

例) 仮説は、「〇〇〇(実践対象の領域・場)において、□□□(手立て)をすれば、子どもたちの◇◇◇(資質・能力)が育成され、△△△(目指す子供像)になるであろう」とする。

評価の視点は、「①知識及び技能、②思考力・表現力・判断力、③主体的に学習に取り組む態度、④他者との協働」の4つの観点とする。

分析方法は、下記3つの方法を用いて検証する。

- (1) 実践中の児童の発言や行動の分析
- (2) 複数の授業者の協議による児童の変容の評価
- (3) アンケートによる意識調査(選択式および記述式 200文字程度)

この際、「……」や「……」などの、〇〇な視点を持った記述や発言に着目して分析する。

本項では、仮説を提示してください。また、仮説を受けた適切な検証方法も提示してください。なお、検証方法(評価の視点と分析方法)は、できるだけ具体的に示してください。検証にあたっては、質的(個の変容の把握)をベースに、可能であれば量的(数量的・統計的把握)にもアプローチできると良いでしょう。

4. 実践内容 「助成金の内訳と主な使途」で示したものをどのように活用するのか、実践内容と共に記載してください

本項では、助成金を活用した本実践として、どのような場面で、何を狙って、どんな実践をするのかを具体的に記載してください。また、助成金を使って準備するものを、どのように活用するのか示してください。

また、地域実践者側の活動と、子供側の活動の双方が記載されていると良いでしょう。

5. 実践スケジュール 1年間のスケジュールを具体的に記載してください

例)

月	段階	主な実践活動	備考
4-5	実践体制の 確立	1. 子供の実態把握 2. 実践の方向性と内容の共有 3. 実践環境整備	1. 事前意識アンケート 2. ①講師を招いての検討会 3. 教材の見積・購入
6-7	XXXXXX		

本項では、実践をいつ、どのように進めるのか、
1年間のスケジュールを具体的に記載してください。
実践の実現可能性をはかる参考になります。

6. 実践成果について

(1) 成果を今後どう活かすのか

得られた成果は、次につなげていくことに価値があります。
「(1)成果を今後どう活かすのか」では、自校や自団体としてどのように発展させることが想定できるのかなど、将来の活動の発展可能性について記載してください。
「(2)成果を他の団体や地域にどう発信していくのか」では、得られた成果を自校・自団体の中に留めず、他の団体や地域などの知見となるよう発信していく方法を記載してください。

(2) 成果を他の団体や地域にどう発信していくのか

本助成は教育助成ですので、実践の仮説の検証のために助成金が支出されなければなりません。そのためには、実践内容を明確にした上で、何をどの程度購入予定なのか、できるだけ具体的に示してください。

7. 助成金の内訳と主な用途 振込金額は1万円単位のため、合計欄には小数点は使用不可 ×48.5万円 ○49万円

目的	内訳 最大50万円	用途 購入するものを具体的に記載	実践内容との関係 どのような目的で使用するかを記載
教材	万円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">何にお金を使うのか</div> 3Dプリンター×1 ○○円 3Dプリンター用消耗材料 ○○円 非接触形状測定機×1 ○○円 ○○実験キット×40 ○○円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">実践の何に関係しているのか</div> 実践の○○実験で使用する教材作成 (研究内容③で使用)
子供の 体験活動	万円		
成果 発信	万円		
その他	万円		
合計	万円	← 振込金額は1万円単位のため 合計欄には、小数点を使わないでください	

- ※申請書の枚数は、4枚厳守で作成願います
- ※各項目の幅は、記載量によって多少変更しても構いません
- ※フォントサイズは、9～11の間で記載ください
- ※行間は、文字が読み取れる範囲であれば、自由に設定してください

<参考文献>

群馬県教育研究所連盟(2001)『改訂新版 実践的研究のすすめ方—創意工夫を生かした教育を求めて—』, 東洋館出版社
 茨城県教育研修センター(2010)『課題研究の進め方』